

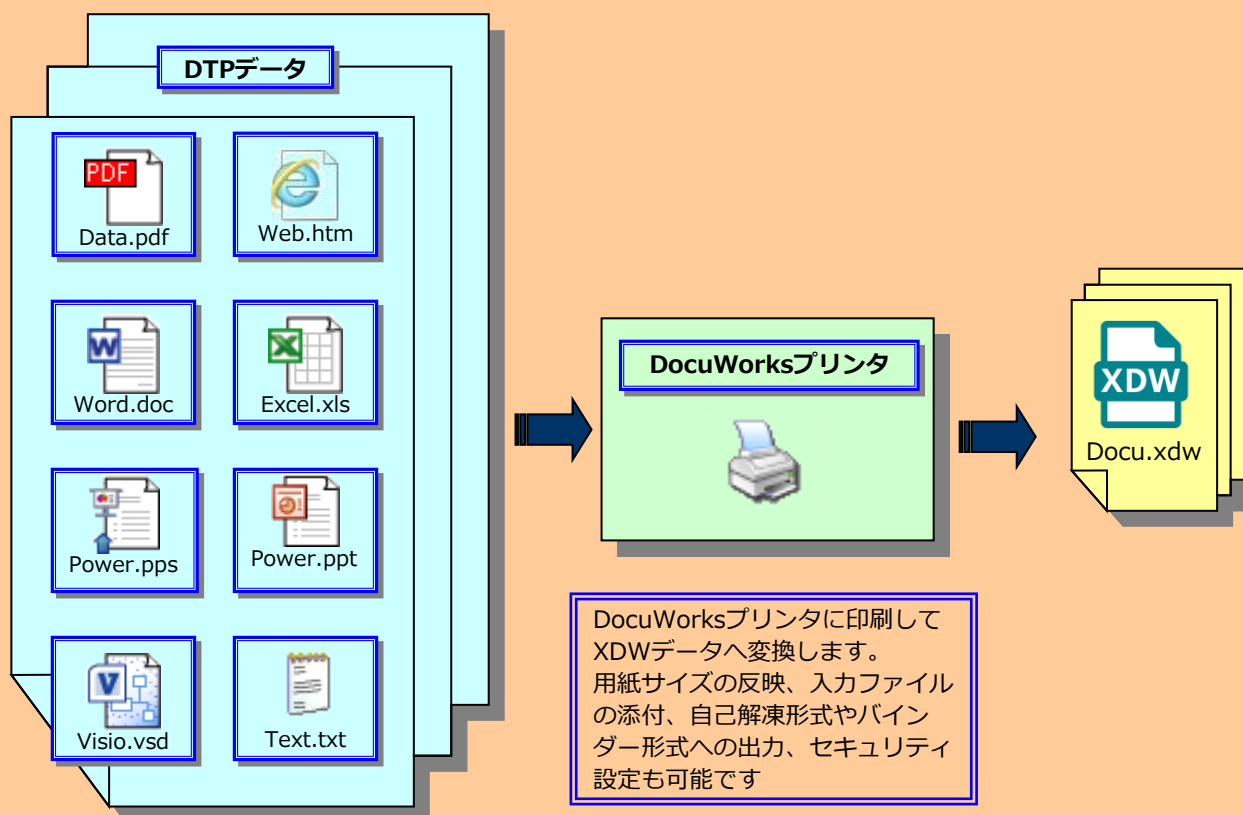
DTPデータ変換ソフト(XDW出力)

-DTP2XDW-

DTPデータ変換ソフト(XDW出力)簡易マニュアル

KCS カーネルコンピュータシステム

各種DTPデータをDocuWorksプリンタに印刷することでXDWデータに変換します。
PDFファイルを、文字情報を検索可能なデータとして
XDWデータへ変換可能です。(DTP2XDWのPDF印刷機能を利用した場合のみ)
DocuWorksライセンスが必要です。PDF変換にAdobeライセンスは不要です。



各種DTPデータを印刷するためのアプリケーションが必要です。

特長

- ・文字情報を検索可能なデータとしてPDFファイルからXDWファイルへ変換可能(DTP2XDWのPDF印刷機能を利用した場合のみ)
- ・Windowsプリンタドライバ(DocuWorks Printer)を経由することで高品質な変換が可能
- ・コマンドライン形式(DOS操作)、GUI形式(画面操作)の双方をサポート。1つの製品で両形式使用可能
- ・オプション製品と組み合わせることで自動監視付き変換などが可能
- ・PDFデータの用紙サイズ反映、セキュリティ解除が可能
- ・PDFファイルの変換でAdobe Acrobatライセンス不要

動作環境

Windows

7, 8, 8.1, 10, 11
Server 2008, Server 2008 R2, Server 2012, Server 2012 R2,
Server 2016, Server 2019, Server 2022

※DTP2XDWの動作には富士フイルムビジネスイノベーション社製品の
「DocuWorks バージョン 6(6.2.6)~9.1(8.0.3を除く)」が必要

※サブスクリプション版のDocuWorksには対応していません。

※文書ファイルの変換を行うアプリケーション(Microsoft Officeなど)の動作環境に依存

標準価格

型番	製品名	概要	価格(税抜き)
KD-RAS0506	DTP2XDW	各種DTPデータをDocuWorks Printerを利用して DocuWorksファイル(XDW)へ変換します。 変換には「DocuWorks」が必要です。	35万円

※ DTP2XDWにはモノクロ版・カラー版はありません。

※ DocuWorksのライセンス規約に準拠する必要があります。

注意事項

- ・ アプリケーションの印刷機能を利用してファイルを作成するため、変換するファイルのアプリケーションが必要になります。
- ・ 印刷に使用するアプリケーションで正常に印刷できる必要があります。アプリケーションで対応していないバージョンのデータなどは正常に印刷できない場合があります。
- ・ 出力に関するデータ処理はすべてアプリケーションに依存します。Microsoft Officeでマクロ命令を利用して画面にダイアログメッセージを出力し停止するような場合や、セキュリティ機能によりパスワードを求めるダイアログメッセージを出力し停止するようなデータなどは、変換ソフトもその時点で停止するので注意していただく必要があります。
- ・ DTP2XDWは64ビット環境で32ビットアプリケーションとして動作します。
- ・ Officeデータ変換処理に使用するアプリケーションは、Office 2019, Office 2021, Office 365, Visio 2019, Visio 2021, Project 2019は64ビットアプリケーションに対応しています。それら以外は32ビットアプリケーションのみ対応しています。
- ・ Office 365の対応バージョンはHPの詳細ページでご確認ください。

機能

- DocuWorksプリンタを利用したXDWへの変換
- シングルページ/マルチページ出力指定
- PDF入力処理時、用紙サイズの自動認識指定
自動認識をする場合、入力データの用紙サイズを自動的に判別して出力データへ反映
自動認識をしない場合、設定されている用紙サイズで出力
- PDF入力処理時、セキュリティの解除機能
- ログファイルの出力
- ページ分割の指定
- バッチ処理(フォルダ単位の拡張子による一括変換)

変換対象データ	拡張子
Microsoft Wordデータ	doc, rtf, dot, txt, docx, docm, dotm
Microsoft Excelデータ	xls, xlsb, xlw, xjs, csv, xlt, xlsx, xltx, xlsx, xlsm, xltm
Microsoft PowerPointデータ	ppt, pps, pot, pptx, potx, pptm, potm, ppsx, ppsm
Microsoft Projectデータ	mpp, mpt
Microsoft Visioデータ	vsd, vss, vst, vsdx, vsdm
PDFデータ	pdf
DocuWorksデータ	xct ※1
HTMLデータ, XMLデータ	htm, html, xml

※1 DocuWorksの入れ物(xct)を変換するにはDocuWorks 9.0.1以降が必要です。

アプリケーション	対応バージョン
Microsoft Word ※	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 365
Microsoft Excel ※	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 365
Microsoft PowerPoint ※	XP, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021, 365
Microsoft Project ※	2002, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019
Microsoft Visio ※	2002, 2003, 2007, 2010, 2013, 2016, 2019, 2021
変換ツール PDFビューア	
Internet Explorer	7, 8, 9, 10, 11

※ データ閲覧用として無償配布されているビューアでは動作しません。

操作方法

コマンドライン操作

コマンドラインからの基本操作は、コマンドプロンプトを起動し、変換する入力ファイル名、出力ファイル名、変換に関する各種設定情報を入力して実行し、変換を行います。

```
DTP2XDW 入力ファイル名 -O出力ファイル名 -各オプション
```

たとえば、入力ファイル(Sample_file.pdf)を変換して、指定した出力ファイル(test.xdw)に出力するには、次のように入力します。

```
> DTP2XDW Sample_file.pdf -Otest.xdw -Udtp_xdw.atr -LOGtest.log
```

※ インストールパスが"c:\kernelcomputersystem\dtp2xdw"の場合、それぞれ指定されたファイルは、プログラム内部で以下のフルパスに置き換えられて変換を実行します。

入力ファイル名	: Sample_file.pdf	→	"c:\kernelcomputersystem\dtp2xdw\Sample_file.pdf"
出力ファイル名	: test.xdw	→	"c:\kernelcomputersystem\dtp2xdw\test.xdw"
変換属性ファイル名	: dtp_xdw.atr	→	"c:\kernelcomputersystem\dtp2xdw\dtp_xdw.atr"
ログファイル名	: test.log	→	"c:\kernelcomputersystem\dtp2xdw\test.log"

【コマンドライン操作の仕様】

- 変換に関する各種設定(シングル/マルチページ化、ファイル番号など)は変換属性ファイルで行います。変換属性ファイルはテキスト形式のファイルで、変換に関する各種設定を弊社で決められた方法で記述します。
- 使用するプログラムについてはカレントフォルダ(現在作業中のフォルダ)に対して相対/絶対パスで指定することができます。プログラムをインストールしたフォルダで作業する場合、パス名を省略できます。変換元ファイル(入力ファイル)、出力ファイル、変換属性ファイル、ログファイルについても同様の扱いとなります。
- 相対/絶対パスを指定する場合においてパス名に空白(スペース)がある場合には` ` (ダブルコーテーション)を使用してください。
- 「-O」は出力ファイル名を指定するオプションです。マイナス記号とアルファベットの「オー」です。大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。また、「-O」と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。その他のオプションについても同様に扱います。
- 変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じ名前を指定することはできません。
- エラー情報や変換状況をカレントフォルダにログファイル名(err.log)で自動的に出力します。

GUI操作

【GUIからの操作】

- ・ プログラムを起動すると下記GUIが表示されます。変換に必要な情報を各項目に設定していきます。設定後、実行(実行ボタンをクリック)すると変換が開始されます。
- ・ 処理が終了すると、設定内容に従った変換結果(ファイル)が出力されます。
- ・ 各項目の情報は保存され次回の変換にそのまま使用することができます。

【GUI操作画面】

DocuWorksプリンタ名

入力ファイル名

ログファイル名

プリンタ情報ファイル名

出力ファイル名

シングル/マルチページ出力選択

開始 : ファイル名に付加するページ番号の開始番号を指定します。

増加 : ファイル名に付加するページ番号の開始番号からの増分を指定します。

桁数 : ファイル名に付加するページ番号の桁数を指定します。

PDF変換設定

DocuWorks出力設定

セキュリティ設定

Officeバージョン

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) tab of the 'dtp2xdw' application. It features several sections: 'DocuWorksプリンター' (DocuWorks Printer) with a dropdown menu; '入力ファイル' (Input File) with an '入力ファイル名' (Input File Name) field and a '参照' (Reference) button; 'ログファイル' (Log File) with 'ログファイル名' (Log File Name) and 'XMLログファイル名' (XML Log File Name) fields and '参照' buttons; 'プリンタ情報ファイル' (Printer Information File) with a '情報ファイル名' (Information File Name) field and '参照' and '保存' (Save) buttons; '出力ファイル' (Output File) with an '出力ファイル名' (Output File Name) field and a 'フォルダ指定' (Folder Specification) checkbox; 'シングル/マルチページ出力' (Single/Multi-page Output) with radio buttons for 'シングルページ' (Single Page), 'マルチページ(全て1ファイル)' (Multi-page (all in 1 file)), and 'マルチページ(ページ数指定)' (Multi-page (page count specified)); 'ファイル番号' (File Number) with '開始' (Start), '桁数' (Number of digits), and '増加' (Increase) fields; 'PDF' (PDF) with '用紙の回転' (Paper rotation) and '縦横を元の状態で変換' (Convert with original orientation) options; 'バインダー化' (Binder) with 'バインダー挿入位置' (Binder insertion position) and 'バインダーファイル名' (Binder file name) fields; 'セキュリティ' (Security) with 'セキュリティ設定' (Security setting) and checkboxes for editing, printing, annotations, and commenting; '開くパスワード' (Open password), 'フルアクセスパスワード' (Full access password), and 'コメント' (Comment) fields; and 'その他' (Other) with 'Officeバージョン' (Office version) and checkboxes for adding input files and creating self-deletion files. At the bottom are buttons for '実行' (Execute), '保存終了' (Save and Exit), '破棄終了' (Discard and Exit), and 'バージョン' (Version).

操作例

- 例1 絶対パスを使用して、任意の変換元ファイル"c:¥test¥infile¥pdfdata.pdf"を出力ファイル"c:¥test¥outfile¥raster.xdw"に変換して出力
- ```
> DTP2XDW "c:¥test¥infile¥pdfdata.pdf" -O"c:¥test¥outfile¥raster.xdw"
```
- 例2 任意の変換属性ファイルを作成し、入力ファイル(pdfdata.pdf)を出力ファイル(raster.xdw)に変換し、任意のログファイルにエラー情報や変換状況を出力
- ```
> DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Udtp_xdw_test.atr -LOG"c:¥log¥abcd.log"
```
- (各パラメータについて)
- dtp_xdw_test.atr : 任意の変換属性ファイル名。
 - "c:¥log¥abcd.log" : ログファイル名(絶対パスを指定)。
- ※ 任意の変換属性ファイルは、初期設定の変換属性ファイルをコピーしてファイル名を変更したファイルや変換属性ファイルに使用されているパラメータを含む内容のファイルです。
- 例3 アプリケーションのバージョン情報を出力
- ```
> DTP2XDW -QV -LOGver.log
```
- (各パラメータについて)
- QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示するオプション。
  - ver.log : ログファイル名。
- ※ 「-QV」と「-LOG」を同時に指定した場合は、指定したログファイルにアプリケーションのバージョン情報を書き出します。
- 例4 PDFファイルの情報をファイル出力
- ```
> DTP2XDW data.pdf -QS
```
- (各パラメータについて)
- QS : PDF情報出力ファイル名(初期設定:pdf_inf.txt)を指定するオプション。
- ※ PDF情報出力ファイルは、PDFファイルに関する情報を書き出して出力するファイルです。
※ PDF情報出力ファイル名の指定が省略された場合は、初期設定のファイル名(pdf_inf.txt)に情報を書き出します。
- 例5 PDFファイルの情報を任意のファイルへ出力
- ```
> DTP2XDW data.pdf -QSjouhou.txt
```
- (各パラメータについて)
- jouhou.txt : 任意のPDF情報出力ファイル名。
- 例6 入力ファイル(pdfdata.pdf)をバインダーファイル(raster.xbd)に新規に変換して出力
- ```
> DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Oraster.xbd -BINDER0
```
- (各パラメータについて)
- BINDER : バインダー処理モードを指定するオプション。
 - raster.xbd : バインダーファイル名。
- ※ 出力ファイル名は必須ですので、出力ファイル名とバインダーファイル名の両方を指定して、入力ファイル(pdfdata.pdf)を(raster.xdw)と(raster.xbd)に変換します。
- 例7 入力ファイル(pdfdata.pdf)を既存のバインダーファイル(raster.xbd)の最後尾に追加モードで変換して出力
- ```
> DTP2XDW pdfdata.pdf -Oraster.xdw -Oraster.xbd -BINDER-1
```

例8 バッチファイルで記述された内容の処理を実行します。  
複数のファイルやフォルダ内のすべてのファイルを一括で変換する場合に使用します。

任意の名称(test.txt)で以下のようにバッチファイル(テキスト形式)を作成します。

・バッチファイルの内容

```
.pdf -0.xdw
.doc -0.xdw
```

・コマンドライン入力と画面表示

```
> DTP2XDW -BATCHtest.txt
```

(各パラメータについて)

-BATCH : フォルダ単位の一括変換を行うために使用するオプションパラメータ。

test.txt : バッチファイル名。

※ 「-BATCH」で指定された任意のバッチファイル名(test.txt)の内容に従い処理を行います。

ログファイル名を任意に指定する場合はバッチファイルに以下のように記入してください。

・バッチファイルの内容

```
.pdf -0.xdw -LOGlog1.log
.doc -0.xdw -LOGlog2.log
```

同様にその他ファイル名等のパラメータもバッチファイル指定時には無視されますので、  
バッチファイルに記入してください。

## 制限事項

### ○全体に関する制限

- ・ 管理者権限を持たないユーザーで本製品を使用する可能性がある場合はインストーラに設定されているフォルダにインストールしてください。
- ・ 本製品は多重起動(本製品を同時に複数実行)することはできません。
- ・ 本製品はログインされた状態で使用してください。ログオフ状態では正常に動作しません。ロック状態であれば動作します。
- ・ 本製品はサービス上で実行することはできません。また、サービス上で実行しているアプリケーションからの呼び出しにも未対応です。
- ・ 本製品は処理時に"通常使うプリンタ"を変更する場合があります。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。
- ・ SJISで表現できないファイル名には対応しておりません。
- ・ インストールマシン以外のネットワーク上のマシンから、リモート呼び出しによる変換はできません。
- ・ DTP2XDWが異常終了した場合には、アプリケーションがタスク上に残っている場合はタスクマネージャ等で終了させてください。
- ・ 本製品の動作中にLOGファイル等の関連ファイルへのアクセス(参照、コピー等)は行わないでください。
- ・ 変換(印刷)中に処理を途中でキャンセルすることはできません。また、変換(印刷)中には、他のオペレーション等は行わないでください。処理が止まる、エラーが発生する場合があります。
- ・ PDFファイルの元の用紙サイズを反映する場合、DocuWorksのバージョンが6以前の場合は、A3より大きい用紙サイズはDocuWorksプリンタが未対応のためA3用紙として出力します。DocuWorks 7以降の場合は、最大2A0までの出力が可能です。
- ・ ファイル変換する文書ファイルの対象となるアプリケーション(Officeなど)は、変換時には終了させてください。また、変換中にもアプリケーションを起動することはできません。起動した場合には、エラーになる場合があります。
- ・ ファイル変換する文書ファイルの対象となるアプリケーション(Officeなど)上で発生したエラーについては対応していません。アプリケーションが終了していない場合はタスクマネージャから処理を中止してください。
- ・ Officeデータ変換処理に使用するアプリケーションは、Office 2019, Office 2021, Office 365, Visio 2019, Visio 2021, Project 2019は64ビットアプリケーションに対応しています。それら以外では32ビットアプリケーションをご利用ください。
- ・ Officeのバージョンアップにより機能や仕様に変更があった場合、弊社製品の動作や変換結果に影響を及ぼす可能性があります
- ・ 変換する文書ファイルにマクロ機能やパスワードの入力等で何らかのダイアログが表示される場合には、変換処理が止まる場合があります。ダイアログを手動で対処するかマクロを削除して再起動してください。ダイアログ回避機能については「ダイアログ回避設定ファイル」をご覧ください。
- ・ ダイアログ回避後の処理で、スプーラの再起動・スプールフォルダのクリーンアップ機能を使用する場合は、「Administrator」または「管理者として実行」で実行してください。
- ・ ダイアログ回避後の処理の「スプールフォルダのクリーンアップ」機能は、**スプールフォルダ内のすべてのファイルを削除**するのでご注意ください。



- ・ PDFファイルのセキュリティ設定を解除するにはパスワードが必要です。
- ・ 入力ファイルの添付機能は、シングルページまたはマルチページ(ページ指定)出力の場合は最初のページだけにファイルを添付します。
- ・ WindowsのOSを長時間(数ヶ月単位)再起動せずに使用すると環境によりWindowsの動作が不安定になる場合があります。これは、弊社アプリケーションのみの問題ではなく、Windowsを含む、利用されるすべてのソフト・ドライバの複合要因であり、このような現象が発生した場合、原因の特定および回避はすべてのアプリケーションが関係するため、対応が不可能です。長期間連続運用を行う場合、上記の問題が発生することがありますので、定期的にWindowsの再起動を奨励致します。
- ・ 本アプリケーション動作中にLOGファイル等の関連ファイルへのアクセス(参照、コピー等)は行わないでください。
- ・ 既存のXDWファイルに、マルチページとしてページを追加して変換を行う場合、既存のXDWにバインダーや保護された文書、署名された文書が含まれる場合、上書きで出力します。
- ・ PDFからXDW変換において、指定により文字列を文字列としてDWプリンタに出力しますが、DWプリンタの仕様により異なる文字に変換されたり、画像として変換されたりする場合があります。
- ・ DocuWorks 9以降では自己解凍文書の作成機能が利用できません。

#### ○Officeファイルの変換に関する注意

- ・ Officeファイルの変換結果は、変換に使用するOfficeの印刷機能に依存します。以下のような場合は意図した結果が得られない場合がありますのでご注意ください。
  - ・ ファイルを作成したバージョンと変換に使用するOfficeのバージョンが異なる場合
  - ・ 変換に使用するOfficeが対応していないフォーマットの変換
- ・ データの存在しないファイル(空のファイル)を変換することはできません。
- ・ ファイル属性のアーカイブ情報の設定がされていない場合には、変換されません。
- ・ Office 2003以降で作成されたアクセス制限が設定されたファイルを変換することはできません。
- ・ 文書ファイルに「読み取り専用」の属性が設定されている場合には、属性を無効にする必要があります。
- ・ Office 2007以降の文書ファイル(docx, dotx, docm, dotm, xlsx, xltx, xlsm, xltm, pptx, potx, pptm, potm)を変換する場合には、変換対象ファイルを開くことが可能であり、印刷が可能であるバージョン(Office 2007以降)がインストールされている必要があります。
- ・ Office 2013環境ではマルチページ画像が挿入されているファイルを変換することはできません。
- ・ 変換環境に複数のOfficeバージョンが共存している場合、動作保証できません。
- ・ 変換後のイメージファイルの解像度が、変換時に設定した解像度と異なる場合があります。これは、Officeの文書ファイルを新規に作成したマシンで規定値として設定されていたプリンタドライバの解像度を文書ファイルが保持しているためです。この事象に対応することはできません。
- ・ エクスプローラでプレビューウィンドウの表示を設定していた場合、タスクマネージャにOfficeのプロセスが残ることがあります。そのため変換処理が停止することがあります。

#### ○Wordファイルの変換に関する注意

- ・ Wordファイルは、保存されているレイアウト(印刷レイアウト/アウトライン等)で変換されます。また、印刷ダイアログの「印刷対象」の設定が「文書」以外に設定されているファイルを変換した場合は、変換を行う際の設定(「印刷対象」=「文書」で固定)と異なるために変換結果が実際の印刷結果と異なる場合があります。

#### ○Excelファイルの変換に関する注意

- ・ Excelデータの表示とDTP製品で変換(印刷)した結果では、印刷範囲やセルの幅高が変更される場合があります。これは使用するプリンタドライバの解像度設定などが異なることにより文字列の改行位置や改ページ位置、縦横の縮尺が異なる場合があるためです。
- ・ Excelファイルのページ設定の印刷品質が空白(通常はプリンタの解像度が表示)になっているファイルについては、変換時にエラーが発生する場合や正常に変換されない場合があります。エラーが発生した場合には、印刷品質の解像度を設定して保存してから変換を行ってください。
- ・ Excelファイルを変換する際には、変換するシート名を指定することはできません。

#### ○PowerPointファイルの変換に関する注意

- ・ PowerPointアプリケーションの初期表示をフルスクリーン表示に設定している場合、変換時にアプリケーションが画面上に表示されますので、フルスクリーンの設定をオフにしてください。

#### ○Visioファイルの変換に関する注意

- ・ Visio 2003ファイルを変換する際、正常に変換できない場合があります。正常に印刷できない場合は、一度Visioファイルを開き「ファイル」メニューの「印刷」で印刷ダイアログを表示し、プリンタの「プロパティ」→「詳細設定」の設定を行ってから、再度変換を行ってください。

#### ○DocuWorksファイルの変換に関する注意

- ・ 自己解凍文書作成機能は、実行環境にインストールされているDocuWorksのバージョンによっては使用できない場合があります。詳細はDocuWorksの仕様をご確認ください。
- ・ 入れ物(xct)を変換するには、DocuWorks 9.0.1以降が必要です。



カーネルコンピュータシステム株式会社  
<https://www.kernelcomputer.co.jp>

パッケージ販売部  
〒221-0056 横浜市神奈川区金港町6-3横浜金港町ビル  
TEL 045-442-0500  
FAX 045-442-0501